

電子メール活用能力 － I T社会のコミュニケーションスキル－

I T化の進展に伴い電子メールは著しく普及しており、もはや電話やファクシミリと並び、ビジネスにおいては不可欠な通信手段として位置付けられている。電子メールの最大の特徴は、面識のない相手や不特定の多数と、距離や時間の制約を受けず、手軽に低コストによるコミュニケーションが可能となったことにある。

一方で、単純なメールソフトの操作ミスや送受信が確認できずにトラブルに至るケースや、メール文で意図した内容が伝わらなかったり、文書表現が適切でなく感情的な行き違いに発展してしまったケースなど、電子メールによるコミュニケーション特有の問題も起きている。

電子メールでは限られた文字数の中で、こちらの意思を正確に伝えなければならない点に難しさがあり、文書作成能力が問われることになる。さらに、深刻なトラブルを招くウイルス感染やセキュリティの問題もある。電子メールの利用に際しては、こうしたリスクも負うことを常に認識するとともに、効果的かつ円滑なコミュニケーションを図るため、基本的な知識とスキルを身につけることが必要となる。

「電子メール活用能力検定試験」では、電子メール送受信の仕組み、特徴、メール文書の作成、利用マナー、セキュリティ、法令順守など、電子メールに関する基本的な知識を問う内容になっている。ネット試験により行うので、お近くのネット試験会場で受けたいときに受験でき、その場で合否が分かるのでとても便利である。

なお、参考テキストとして、「電子メール活用能力検定試験学習ガイド」が発売されていますので、是非ともご活用いただきたい。